

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
平成30年6月11日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所 愛知県常滑市金山字大屋敷15番地の2	
氏 名 株式会社 水 野 組	
代表取締役 三輪 一馬	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 059-42-0177	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 水野組
事業場の所在地	愛知県常滑市金山字大屋敷15番地の2
計画期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06：総合建設業
② 事業の規模	元請完成工事高：107277万円
③ 従業員数	26人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	道路改良工事 構造物取壊工事：がれき類→中間処理業者に委託。選別後再生砕石として再資源化。 建設工事：がれき類→中間処理業者に委託。再生砕石として再資源化 汚泥→中間処理業者に委託。脱水処理後選別し洗い砂として再生資源化残りを埋立処分 既設建築物取壊工事 構造物取壊工事：がれき類→中間処理業者に委託。選別後再生砕石として再資源化残りを埋立処分 木くず→中間処理業者に委託。選別後チップとして再資源化 混合物→中間処理業者に委託。選別後一部建設資材として再資源化残りを埋立処分 災害復旧工事 建設工事：がれき類→中間処理業者に委託。選別後再生砕石として再資源化、残りを埋立処分 木くず→中間処理業者に委託。選別後チップとして再資源化 混合物→中間処理業者に委託。選別後一部建設資材として再資源化、残りを埋立処分

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 管理部管理課長 (廃棄物処理統括責任者) 総務部 (産業廃棄物管理担当) 工事現場管理責任者 (産業廃棄物管理責任者)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度 (平成29年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	別紙のとおり	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	別紙のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃プラスチック類、金属くず、がれき類、混合物はそれぞれ分別して保管している		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 特になし		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	実績なし	実績なし
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） ・実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	予定なし	予定なし
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） ・実施する予定はない		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	実績なし	実績なし
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	予定なし	予定なし
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
（今後実施する予定の取組） ・実施する予定はない			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	実績なし	実績なし
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	予定なし	予定なし
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) ・実施する予定はない		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第2面 別紙)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項														
①現状	【前年度（平成29年度）実績】													
	産業廃棄物の種類	がれき類 コンクリート塊	がれき類 アスファルト塊	がれき類 砕石	廃プラスチック類	木くず	ガラス・陶磁器くず ・廃石膏ボード	混合物 安定型	混合物 管理型	汚泥	繊維くず	混合物 (水銀使用製品)	石綿含有混合物 がれき類	合計
	排 出 量	1123t	1903t	200t	7t	211t	45t	30t	953t	17t	7t	1t	6t	4503t
	(これまでに実施した取組) ・発注者やメーカーと事前の調整を行い発生量の削減に努めている ・現場での選別をすることで減量に努めている													
②計画	【目標】													
	産業廃棄物の種類	がれき類 コンクリート塊	がれき類 アスファルト塊	がれき類 砕石	廃プラスチック類	木くず	ガラス・陶磁器くず ・廃石膏ボード	混合物 安定型	混合物 管理型	汚泥	繊維くず	混合物 (水銀使用製品)	石綿含有混合物 がれき類	合計
	排 出 量	1010t	1713t	180t	6t	190t	41t	27t	858t	15t	6t	1t	5t	4052t
	(今後実施する予定の取組) ・発注者やメーカーと事前の調整を行い今まで以上に発生量の削減に取り組む ・現場での選別を更に進めることにより減量に努める													

(第4面 別紙)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項														
①現状	【前年度（平成29年度）実績】													
	産業廃棄物の種類	がれき類 コンクリート塊	がれき類 アスファルト塊	がれき類 砕石	廃プラスチック類	木くず	ガラス・陶磁器くず ・廃石膏ボード	混合物 安定型	混合物 管理型	汚泥	繊維くず	混合物 (水銀使用製品)	石綿含有混合物 がれき類	合計
	全処理委託量	1123t	1903t	200t	7t	211t	45t	30t	953t	17t	7t	1t	6t	4503t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0t	0t	0t	0t	208t	45t	0t	2t	0t	0t	0t	6t	261t
	再生利用業者 への処理委託量	1123t	1903t	200t	7t	211t	45t	30t	953t	17t	7t	1t	0t	4497t
	認定熱回収業者 への処理委託量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
(これまでに実施した取組) ・再生処理業者へ委託することで再資源化している ・昨年より優良認定業者への委託量を増やすことができた。 ・選別を徹底してもらう事により減量化に努めている														

(第5面 別紙)

②計画	【目標】													
	産業廃棄物の種類	がれき類 コンクリート塊	がれき類 アスファルト塊	がれき類 碎石	廃プラスチック類	木くず	ガラス・陶磁器くず ・廃石膏ボード	混合物 安定型	混合物 管理型	汚泥	繊維くず	混合物 (水銀使用製品)	石綿含有混合物 がれき類	合計
	全処理委託量	1010t	1713t	180t	6t	190t	41t	27t	858t	15t	6t	1t	5t	4052t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0t	0t	0t	0t	187t	41t	0t	2t	0t	0t	0t	5t	235t
	再生利用業者 への処理委託量	1010t	1713t	180t	6t	190t	41t	27t	858t	15t	6t	1t	0t	4047t
	認定熱回収業者 への処理委託量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) ・優良認定業者へ委託するようになっていきたい。 ・近隣にがれき類の優良認定業者の認定を受けている所がないのが現状だが、今後認定を受けた業者があれば積極的に利用したい													
※事務処理欄														